

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年8月21日)

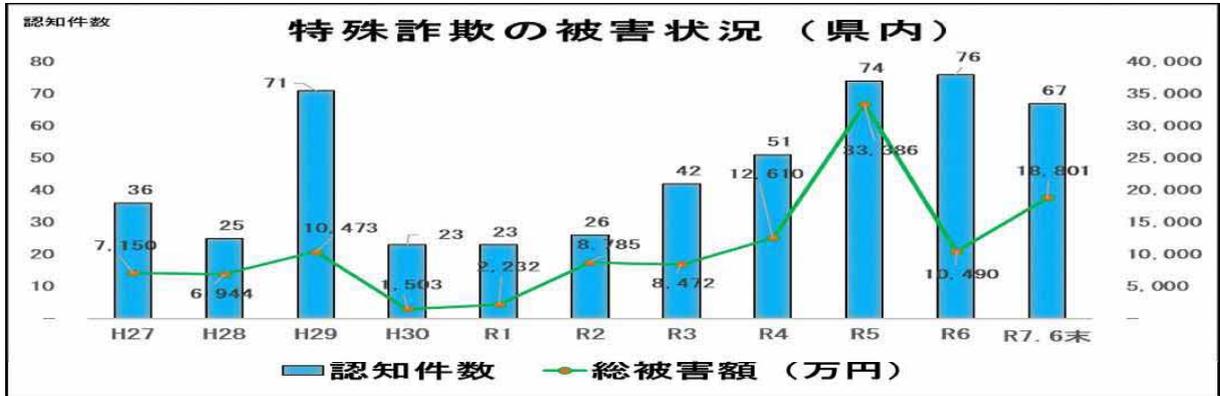
- 令和7年上半期における特殊詐欺等の現状及び対策…………… 2
(生活安全部生活安全企画課)

警 察 本 部

令和7年上半期における特殊詐欺等の現状及び対策

令和7年8月21日
警察本部
(生活安全部生活安全企画課)

1 特殊詐欺等の現状



年別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7.6末	R6.6末
認知件数(件)	36	25	71	23	23	26	42	51	74	76	67	37
被害額(万円)	7,150	6,944	10,473	1,503	2,232	8,785	8,472	12,610	33,386	10,490	18,801	3,138

(1) 特殊詐欺の認知状況 (令和7年6月末現在)

- 認知件数 67件 (前年同期比 +30件)
- 被害金額 約1億8,801万円 (前年同期比 +1億5,663万円)
- 手口別では、警察官をかたる詐欺、副業名目の詐欺が被害全体の約7割
- スマートフォンとインターネットバンキングの普及により若年層に被害が拡大

(2) SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況 (令和7年6月末現在)

- 認知件数 39件 (前年同期比 +20件)
- 被害金額 約2億1,345万円 (前年同期比 -4,853万円)
- 40代から70代の男女で被害が多発
- マッチングアプリ、Instagram、Facebookを介して被害に遭う傾向



(3) 水際阻止状況 (令和7年6月末現在)

- 阻止件数 25件 (阻止率 約19.1%)
- コンビニエンスストア店員及び金融機関職員による阻止が全体の約9割
- 水際阻止に功労のあったコンビニエンスストア店員等に対し、感謝状を贈呈

2 被害の未然防止対策

(1) あらゆる媒体を活用した防犯情報の発信

- テレビCM、県警公式X(旧ツイッター)
- SNSバナー広告、ラジオ放送
- トリピーメール、トリピーなび
- タクシーサイネージ
- 現役警察官によるテレビ生出演
- 防災無線、街頭広報、新聞等



<テレビCM>



(2) 電話対策の推進

- 県と合同で犯人から電話を受けないための対策を推進中
- 携帯電話には着信規制が可能なアプリの推奨
- 固定電話には国際電話の利用休止申込みの推奨

(3) 民間事業者と連携した取組

- 株式会社トレンドマイクロと合同で詐欺対策セミナーを開催
- 株式会社ダスキンと詐欺被害防止マットを制作

<防犯マット>



3 今後の取組 (これまで警察広報が届いていなかった層に対する啓発)

- (1) YouTubeCMを活用したロマンス詐欺啓発
- (2) TVerを活用した警察官をかたる詐欺啓発
- (3) 詐欺対策と闇バイト啓発を連動させた啓発